

リンゴ早生種 ‘つがる’

研究のねらい

‘祝’、‘旭’に替わる早生種を育成する。

研究の成果

選 抜 理 由： ‘旭’に替わる、食味が良好で、豊産性の早生種として選抜された。

組み合わせ： ‘ゴールデンデリシャス’ × ‘紅玉’

〔花粉親は長い間、不明であったが、弘前大学のDNAフィンガー
プリント法による鑑定（1992年）で ‘紅玉’ と特定された。〕

交 配 年 次：1930年（昭和5年）

登 録 年 次：1975年（昭和50年）11月

樹 の 性 質：若木の時期は直立しやすいが、結実し始めると枝が下垂し、開張性になる。

斑点落葉病には抵抗性が強く、黒星病には‘ふじ’並みに弱い。豊産性である。

収 穫 時 期：9月中～下旬で、収穫前落果が多いので、落果防止剤の散布が不可欠である。

熟期が不揃いなので、2～3回に分けてすぐりもぎをする必要がある。

果 実 特 性：1果重は300～350gであり、果形は長円形である。果色は紅色で鮮紅色の
縞が入る。果肉は黄白色でやや硬く、ち密で果汁が多い。食味は甘みが強く、
良好である。貯蔵性は室温で2～3週間、冷蔵で2か月程度である。



発表資料

1. 山田三智穂ら（1973）. リンゴ新品種 ‘つがる’ について. 青森りんご試報 18：1-10.
2. 山田三智穂編（1981）. リンゴ 日本と世界の品種. 青森県りんご協会. PP. 46-47.